

エリア：ロンドン北部ノーザンライン沿線

ロンドンー東京プロパティサービス

フィンチリーセントラル支店 支店長 渡辺 理佳

ロンドンの中心地から地下鉄ノーザンラインに乗車、しばらく電車で揺られると、突然明るい日が差し込み電車は地上へ、そこから先がフィンチリーセントラル支店のカバーするロンドン郊外の住宅地です。わずか電車で30分程ですが、混雑した都会の景色から一転、車窓には緑が広がります。朝の通勤時は小鳥のさえずりを耳にしながら駅に向かい、帰宅時は真っ赤な夕焼け空に出迎えられるような街。それが、ロンドン北部ノーザンライン沿線の地域です。

・エリアについて

ノーザンラインは、ロンドンを南北に走る全長58キロの路線で、北部はハイバーネットブランチと、エッジウェアブランチの二つの路線に分かれます。ハイバーネットブランチはフィンチリー、ウッドサイドパーク、トッテリッジが、エッジウェアブランチではゴルダースグリーン、ブレントクロス、ヘンドン、コリンデールが弊社のカバーエリアです。



・ハイバーネットブランチについて

サッチャー首相の選挙区だったフィンチリー、そこから北上するウッドサイドパーク、トッテリッジといった緑豊かな住宅街が広がるエリアに、たくさんの日本人駐在員がお住まいです。区画整理された街並みに映える美しいレンガ色の家の多くが、1920年代～1930年代に建てられたセミデタッチハウスで、町全体が木々の緑と一体化し水彩画のような彩りです。芝生の敷かれた大きな庭のある家も少なくはなく、リンゴなどの果樹があれば、その収穫を楽しむことができます。ゴルフ場と隣接した物件では、ゴルフをプレーしている人が庭越しに見えたり、乗馬クラブが真裏にある家の窓からは、馬が駆けている姿を目の当たりにしたりするのは驚きです。ノーザンラインと並行し南北に緑道も延び、学校の帰り道に緑道の小川で水遊びをするなど、ロンドンにいながら自然の中で日々過ごせることも、お客様から「この地を選んでよかった」と言っていただけの理由です。



・エッジウェアランチについて

ハムステッドヒースという広大な緑地の入り口に位置したゴルダースグリーン駅周辺は、日本食レストランや食材店、韓国料理店やイギリスには珍しい薄切り肉の買えるお肉屋さん、アジアスーパーもあり、日本人にとって、便利で暮らしやすいエリアです。また、120ものショップと30以上の飲食店のあるプレントクロスショッピングセンターは、オックスフォードストリートにあるショップの多くがここに集結、わざわざ中心部に行かなくてもお買い物を楽しめます。その先のコリンデールは、新築マンションが建築されている開発地域で、ちょうど今、駅の改修工事のため駅そのものが閉鎖されていますが、北部に車で通う日本人駐在員の方も、今後増えることが予想されます。



・教育について

弊社カバーエリアであるバーネット区は、教育環境が充実しているのも特徴です。UKの公立セカンドリースクールトップ10に、バーネットから2校もランクインしました。また、バーネット区にあるプライマリースクールに子供を入学させるために、セントラルロンドンから転入してくる家族も少なくありません。一方、日本人駐在員の中

には、学校を名指しし、その近くの物件を探される方もいらっしゃいますが、弊社でご紹介している物件のエリアであれば、どのプライマリースクールに通っても良し悪しに大差はなく、帰国するお客様から学校が不満だったという声は聞こえてきません。バーネット区にある学校そのものが外国人の子供に慣れていませんし、国籍によるいじめも少ないと聞いています。テニスコートやスイミングプールも充実し、日本での習い事をそのまま続けやすいというのも、良いところだと思います。



以上、世界の金融の中心であるロンドンの意外な一面についてイメージしていただけただけなら嬉しく思います。駐在員の方は3年～5年間ロンドンに住むことが多いようですが、旅のガイドブックには載っていない場所だからこそ、住む人にとって「ふるさと」のように心に残るのではないのでしょうか。余談ではありますが、住んでいた家の大家さんと、日本に帰国されてからも連絡を取り合っている方もいます。これもきっと、大切に物件の手入れをする大家さんが多いという土地柄からくるものでしょうし、言葉が通じなくても心が通い合っているようなエピソードを幾度となく聞くと、物件をご紹介して良かったとつくづく感じます。